

1. 生涯学習政策アドバイザーの派遣 ～香川大学と香川県教育委員会との間に協定が締結されました～

【協定の内容】

平成18年3月29日に「国立大学法人香川大学と香川県教育委員会との生涯学習政策アドバイザーの派遣に係る協定書」の調印式が執り行われ、4月より生涯学習教育研究センター専任教員の派遣が始まりました。派遣の形態や職務内容は以下の通りです。

- 1)アドバイザー 生涯学習教育研究センター専任教員
- 2)派遣日 毎週水曜日 午後1時～5時
- 3)派遣場所 香川県教育委員会事務局生涯学習課
- 4)職務内容 ①生涯学習関係職員、社会教育関係者及び学校教育関係者等からの相談に応ずること。
②香川県及び市町の生涯学習・社会教育に関する施策に対する助言を行うこと。
③生涯学習・社会教育の振興に資する調査研究を行うこと。

【派遣の経緯】

生涯学習教育研究センターは香川大学の地域貢献部門を担うセンターであり、30年近い歴史をもっています。これまで公開講座以外にも、専任教員は生涯学習・社会教育行政の実施する研修講座の企画相談、行政の各種委員会委員、社会教育調査の協力実施、NPOの支援等において貢献してきました。それをもう一步踏み込むことでさらなる緊密な連携を図り、定期的に空間を共有することでフォーマルのみならずインフォーマルな情報をも共有しながら、時代に相応しい政策を両者で創り出すことも大きな目標のひとつです。社会教育には、学社融合*1(学校教育と社会教育の)という考え方がありますが、香川県教育委員会と香川大学が融合して莫大なエネルギーを生み出すことができるよう、関わりたいと考えています。



*1 学校教育と広義の社会教育がその一部を共有したり共有できる活動をつくりだし、一体となって取り組む教育・学習活動のことである。(『生涯学習研究e事典』より)

【相談内容の例】

これまでの派遣の際に、どのような相談が寄せられたかについて簡単に紹介します。

- 1) 香川県教育委員会生涯学習課の事業関連
 - ・生涯学習・社会教育関係研修のプログラム相談
(地域コーディネーター研修・子どもの育成フォーラム・子ども会研修会等)
 - ・かがわ県民カレッジのキャンパス講座(連携事業)の相談
 - ・女性のキャリア支援等のプログラム相談
 - ・地域活動支援講座に関するプログラム相談
- 2) 市町教委による相談
 - ・丸亀市より「生涯学習推進計画」策定に関する相談
- 3) 団体関連
 - ・香川県連合青年会より、「若者たちのサラダボール」の相談



【香川大学にとってのメリット】

また、専任教員が県教委に出向くだけでなく、県教委事務局や図書館・博物館等の職員の方々には香川大学の講義に参加して頂いています。あるときはビデオレターで、あるときは実際に大学キャンパスに来て頂くという形で、現場の生の声を学生に伝えたり、現在直面している課題についてともに検討するプロジェクトも試みています。

2. 公開シンポジウム&ワークショップ 「災害に強いコミュニティづくり」のお知らせ

生涯学習教育研究センターでは、今年度の新しい試みとして、公開シンポジウム&ワークショップを実施します。本企画は、『平成16年台風災害調査団報告書』の提言にもとづくもので、第1部では3名の防災の専門家によるパネルディスカッションを、第2部ではワークショップ形式により小人数に分かれてディスカッションを行います。みなさまのご参加をお待ちしております。

【第1部 シンポジウム:都市防災の現状と課題】

パネリスト 長谷川修一(香川大学工学部教授:安全システム建設工学)
室井 研二(香川大学教育学部助教授:都市社会学)
島津 昌代(高松赤十字病院:臨床心理士)
司 会 山本 珠美(香川大学生涯学習教育研究センター助教授)

【第2部 ワークショップ:災害対策のために、今、考えなければならないこと】

ファシリテーター 清國祐二・山本珠美(香川大学生涯学習教育研究センター助教授)

日 程: 2006年7月22日(土) 13:00~16:30

会 場: 香川大学研究交流スペース(香川大学研究交流棟5F)

定 員: 第1部 100名 第2部 50名

受講料: 無料

主 催: 香川大学生涯学習教育研究センター

共 催: 香川県

後 援: 香川県教育委員会、高松市、高松市教育委員会

参加申込先: 参加ご希望の方は7月14日(金)までに、当センターにご連絡下さい。

3. 平成18年度公開講座の追加募集、締切迫る！

昨年度より公開講座の募集を12月と6月の年2回実施しております。

メールにてすでにご連絡してありますとおり、6月1日より今年度後期分の公開講座追加募集が始まりました。締切は今月末です。計画の詳細は本センター専任教員との協議の中で詰めていただければ結構ですので、頭の片隅に構想がありましたら、是非ともお申し込み下さるようお願いいたします。

📍 申 込 先: センター事務室 内線:1273 メール:syogse@ao.kagawa-u.ac.jp

📍 問合せ先: センター専任教員 清國祐二 内線:1272 メール:kiyokuni@cc.kagawa-u.ac.jp

センター雑感

朝一コマ目の科目を担当している。受講学生はおよそ80名程度。授業開始時に私が発する「おはようございます！」の声に、最初は見事に反応がなかった。多少声を出している学生もいないわけではないが、「★※△♪」、おいおい、何語喋ってるんだ？このテンションの低さ、なんとかならないものか、と、まずは挨拶の練習から始めた。当初は冷めていた学生も、「やり直し！今の3倍の声を出しなさい！」との私のしつこさ(?)に、しぶしぶ声を出すように。でも、次の授業ではまた1からやり直し。そんなことの繰り返しだったが、最近ようやく元気な声で「おはようございます！」が返ってくるようになった。やはり、その方が清々しい気持ちで授業がはじめられる。(山本)